



教えて化するは、化入り難し 化して教えるは、教入り易し

研修部長 大矢 紘 一

「かかわってやるのが教育なんだよ」 障害児教育講座に参加したA教諭の復命書の一節で、講座助言者のこの一言が深く心に残ったと記しています。

初めて障害児学級を担任した若き日の助言者は、指導法で悩んだ。その時、先輩が「一生懸命かかわってやることだよ」と諭した。「私の教育は、この一言から始まり子どもたちを育む長き教師道の支えとなった」と助言者は語ったというのです。

『学力といじめ・不登校問題』は、私どもの最重要課題で、尽力厭わぬ日々です。学力低下は、昭和30年代の新聞で学級編制基準や指導態勢と結びつけて指摘され始め、その後、いじめ・不登校問題も深刻化してきます。教育の歩みを振り返る時、この二問題には同根源ありと考えます。県小教研は、13年前から学習指導改善調査研究事業を実施し、各校の指導改善に資料を提供してきました。いじめ・不登校問題も、各研究組織を通して議論・実践し、行政のきめ細かな対応も進んでいます。しかし、40年前と変わらぬ、むしろ深刻化している現象も事実で、より踏み込んだ態勢が求められます。

どの内容が理解されず誤答を繰り返しているかの調査資料を自己の指導改善必要な授業にまで結びつける研究がなされているのか。一人一人の学習意欲や不十分さへのかかわりの時間は大切にされているのか。家庭での学習習慣は、低学年から躡けられているのか 等々、今、まさに私どもがすべき吟味内容と言えます。

表題文は、江戸陽明学者・佐藤一斎「言志四録」の一節。化とは「感化、かかわること」で、教え導く基です。自己の「化」を大切にしたい先人にも学びたいものです。

平成12年度新潟県小学校教育研究会役員

平成12年度役員の方々は、次のとおりです。

会 長	山田 穰 (新 潟・新潟小)	〃	濱田 敏子 (新 潟・東青山小)
副会長	山岸 宏 (上 越・東本町小)	〃	藤巻 徹 (上 越・国府小)
理 事	大橋 岑生 (長 岡・阪之上小)	〃	伊藤 和恭 (新 津・新津第一小)
〃	小黒 正範 (長 岡・表町小)	〃	町田 昌 (十日町・十日町小)
〃	樋浦 晃治 (新 潟・鏡淵小)	監 査	佐藤 英尊 (糸魚川・糸魚川小)
〃	金子紀久夫 (新 潟・上所小)	〃	岸本 賢一 (燕 ・燕東小)
〃	矢坂 精一 (新 井・新井小)	〃	岩澤 勝巳 (長 岡・川崎東小)
〃	保科 博昭 (見 附・見附小)	幹 事	末崎 和成 (新 潟・入舟小)
〃	大矢 紘一 (柏 崎・柏崎小)	〃	長野 克水 (上 越・高志小)
〃	岩佐 昭恵 (新発田・外ヶ輪小)	〃	八木 信吉 (新 潟・白山小)
〃	臼井 一郎 (上 越・大手町小)		

・ 6月の第1回評議員会において承認されました。